

新潟市秋葉区 観光・交流戦略プラン

平成 31 年 3 月

秋葉区観光・交流戦略会議



観光・交流戦略プラン策定の目的

新潟市秋葉区は豊かな自然環境に恵まれ、歴史や文化といった、観光・交流を呼び込む多数の資源を備えている。より多くの観光・交流客が訪れるまち・観光産業が成り立つまちの創出を目指して、特徴的である「里山、歴史、食、花、川、鉄道」の6つの地域資源を中心に戦略プランを構築し、観光・交流振興に官民一体となって取り組むこととする。

これまでの市・区の取り組み

市	にいがた未来ビジョン（平成27年度～平成34年度）
	基本構想：①安心協働都市 ②環境健康都市 ③創造交流都市
区	区ビジョンまちづくり計画（平成27年度～平成34年度）
	区の将来像：花と緑に囲まれた、笑顔咲きそろう、にぎわいのあるまち
区	アキハスムプロジェクト（平成29年度～）
	秋葉区に、住んだ人と、住んでた人が、『住んでよかった』と言う、思うプロジェクト

秋葉区の観光・交流の現状と課題

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	<p>強み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの地域資源や観光施設単体の魅力は十分であり、特徴的なコンテンツが複数ある。 ○活動をしている人々の個性が豊か。 ○各種団体間の関係が良好。 	<p>弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○イベント過多であり、関係者に疲弊感がある。 ○観光が事業（ビジネス）化まで成熟されておらず、事業者が育っていない。 ○観光施設の多くが郊外にあり、鉄道の駅から遠い。加えて、二次交通が充実しているとは言い難い。 ○半日以上滞在・周遊する場所であるイメージが作れていない。 ○週末や祝日に観光のインフォメーション、情報集約を行う機関がない。 ○宿泊場所がとても少ない。 ○食の名物が少ない。 ○絶対的なコンテンツに乏しい。
外部環境	<p>機会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○複数の地域資源が注目されている。 ○インバウンドの全国的な増加。 ○阿賀、会津との観光交流連携の進展。 ○国、県、市が観光交流促進に熱心に取り組んでいる。 	<p>脅威</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域間・都市間の観光・交流競争の激化。 ○ICTやキャッシュレスの進化。

観光・交流戦略プランの目指す将来の秋葉区の観光像

秋葉区の人たちが

地域への愛着を持ち、秋葉区に人を呼びたくなる



秋葉区の外の人たちが

秋葉区に興味を持って、訪れたいと思う。秋葉区のことを知りたいと思う。そして、秋葉区にもっと留まっていたいと思う。

そしていずれは「住んでみようかな」と思う。

観光・交流戦略プランの計画期間と目標とする指標

◆ 計画期間

3 年間（平成 31(2019)年度～令和 3(2021)年度）

（2019 年 10～12 月 JR「新潟県・庄内エリア デスティネーションキャンペーン」）

（2020 年 東京オリンピック・パラリンピック）

（2121 年 4～9 月 JR「東北 6 県デスティネーションキャンペーン」）

◆ 目標とする指標

指標	令和 3 年度 数値目標	目標設定の考え方
①主要観光施設の入込客数 （平成 30 年度 1,673 千人） ・花：植物園+3 直売施設（1,498 千人） ・歴史：埋文+弥生+中野邸+石油（76 千人） ・里山：里山 V.C.（39 千人） ・鉄道：鉄道資料館（60 千人）	1,840 千人	施設間の相互連携（広報・PR など）により、観光客の周遊を促進し、平成 30 年度の 10% 増を目指す。
②主要イベントの入込客数 （平成 30 年度 40,721 人） ・花：日本ボケ展（30,500 人） ・里山：花と遺跡のふるさとフェスタ（4,221 人） ・鉄道：車両製作所公開（5,000 人） ・川：銘酒と名湯 ごつつおまつり（1,000 人）	44,793 人	広報・案内機能の向上や、地域資源の結び付けによるイメージ強化により、平成 30 年度の 10% 増を目指す。

戦略の体系

本プランの目指す観光像を実現するため、指標に基づき①2つの基本戦略と、それを支える②6つの地域資源ごとの戦略を掲げることとする。

基本戦略1 推進体制の構築

- 観光・交流のコントロールタワーの整備・確立
- 二次交通の整備
- 宿泊場所の確保

基本戦略2 地域と歴史をみつめる

- 歴史とストーリーの掘り起こし
- 広域での観光と交流の連携

2つの基本戦略を支える Akiba の6つの地域資源ごとの戦略



▲ 戦略の体系イメージ

①2つの基本戦略に基づく施策展開

基本戦略1 推進体制の構築

秋葉区はJR新津駅を中心とした鉄道のアクセスが良く、それぞれの観光スポットは十分に人々を惹き寄せる魅力がある。それらを結び付けて人々の周遊を生み、心から楽しんでいただけるおもてなし環境を区民・官民協働で整備する。

施策1 観光・交流のコントロールタワーの整備・確立

観光と交流の情報を集約し、週末や祝日も含めて総合的な案内が可能なコントロールタワーを、JR新津駅至近に整備する。

施策2 二次交通の整備

郊外の観光施設、イベント、JR新津駅を結ぶシャトルバスを試験的に運行していく。併せて、区バスの利活用を検討する。

施策3 宿泊場所の確保

宿泊客の区外流出を防ぐために、多様な宿泊先の創出を目指す。

基本戦略2 地域と歴史をみつめる

観光・交流における地域間競争が激化する中、選ばれる目的地にはその土地ならではのモノ・コト・ストーリーや個性的なヒトが存在する。幸い秋葉区には6つの特徴的な地域資源が存在し、それらを歴史や文化と一体的に印象付けることが効果的である。

施策1 歴史とストーリーの掘り起こし

6つの地域資源の歴史を掘り起こし伝えていく。例えば、花き・花木産業と鉄道が発達した経緯（ストーリー）や、川湊と町屋の歴史を知ることは、それぞれをより魅力的に印象づける。

施策2 広域での観光と交流の連携

川や鉄道を通して歴史的につながりの深い阿賀・会津地域と広域的に連携し、効果的なプロモーションを行う。

② Akiha の 6 つの地域資源ごとの戦略に基づく施策展開

施策は観光・交流戦略プラン策定時のアイデアとして、実現に向けて取り組むもの。プレイヤーである関係者が連携し、時期に応じて最適・最善な実現を目指します。

取り組み	プレイヤー	ターゲット
戦略1 オープンファーム 【施策】 ●花施設を巡るツアー（ガーデンツーリズム） （花施設＋生産者＋スイーツなど） ●秋葉区の花産物を『体験』する機会を作る ●生産農家が集積する風景を見てもらう ●花施設を巡る循環バスの運行 （花施設間～他のスポットへも）	生産者グループ （花夢里・うららこすど・新津FL） 区役所・JA 区役所・JA 区役所・JA・観光協会	花好きの人たち （女性・子ども・インバウンド客）
戦略2 まちなかを花でいっぱい 【施策】 ●駅前と商店街を花で埋めつくす （「花の街」づくり） ●Akiha フラワー・ガーデニングショー （見直し「旧 花の写真コンテスト」）	商店街・区役所 区役所・JA	
【管理指標】 （平成 29 年度実績）	農協花出荷(834,000 千円)/生産者数(96 人)/新潟県立植物園 入込客数(226,913 人)/花夢里にいつ 入込客数(560,983 人)/新津FL 入込客数(238,957 人)/花とみどりのシボルグ 入込客数(371,442 人)/花ツアー数(2 件)/花ツアー動員数(40 人)/日本ボケ展 来場者数(30,500 人)	



取り組み	プレイヤー	ターゲット
戦略1 「鉄道のまち」と食の融合 【施策】 ●駅弁をもっと気軽に買える，食べられる環境作り ●「鉄道メニュー」の再構築	鉄道商店街 商工会議所	鉄道ファン
戦略2 食の広域連携 【施策】 ●地域単体でなく，広い地域で共通する特色を活かす （例：SL 内でのお酒や料理のふるまい） ●銘酒・郷土料理をまとめて楽しめるイベントなど （例：ごっつおまつり・NNS・にいつ食の陣）	商工会議所・観光協会・区役所 商工会議所・観光協会・区役所	
戦略3 秋葉区ならではのメニュー・食材の再認識 【施策】 ●もち麦，プチヴェールなど，秋葉ならではの健康食で訴求	JA・区役所・生産者	女性・高価食材を使用する外食
【管理指標】 （平成 29 年度実績）	駅弁販売数(6,000 個)/鉄道メニューの種類数(30 年度：13 メニュー)/ごっつおまつり(30 年度：1,000 人うち有料 400 人)/NNS チケット使用枚数(30 年度：6,411 枚)/飲食店数(商工会・商議所の会員)(120 店)/もち麦(作付面積 4ha，出荷 12,000kg)/産業祭(30 年度：新津会場=3,500 人・小須戸会場=5,500 人)	

取り組み	プレイヤー	ターゲット
戦略1 観光案内所の開設 【施策】 ●鉄道とまちなかを組み合わせた案内所の開設	観光協会・区役所	秋葉区の人たち
戦略2 鉄道ツアー・イベントの進化 【施策】 ●秋葉区や新潟市全体の鉄道施設の見学ツアーやイベントの開催	観光協会・鉄道資料館・区役所	秋葉区を訪れる人たち 地元の子ども
戦略3 イベント列車、自転車持ち込み列車の運行 【施策】 ●オシャレ女子やママ鉄などが楽しめるもの ●「お花見列車」「婚活列車」「自転車持込列車」の運行	鉄道資料館 観光協会・鉄道商店街・鉄道資料館	ママ鉄 お洒落女子
戦略4 「鉄道のまち」PR作戦 【施策】 ●新津オリジナル「鉄道の日」制定 ●オリジナル鉄道グッズの開発の進化 ●鉄道資料館の新規整備に向けたプランづくり	鉄道資料館 鉄道商店街 鉄道資料館	鉄道ファン
【管理指標】 (平成29年度実績)	ていしゃば 来場者数(8,186人)／総合車両製作所公開日 入込客数(30年度:5,000人)／鉄道資料館 来館者数(66,790人)／新津駅 乗車人数(1日平均)(4,341人)／「阿賀野川ごっつおまつり号」乗車数(30年度:171人)／鉄道メニューの種類数(30年度:13メニュー)／鉄道グッズ 販売金額(資料館)(6,013千円)	



取り組み	プレイヤー	ターゲット
戦略1 川を通じた広域連携 【施策】 ●五泉市・阿賀野市との連携, 江南区・南区との連携	区役所・阿賀野川ライン協	
戦略2 川的环境整備 【施策】 ●サイクリングロード専用道の整備 ●能代川の桜並木・新津川のスイセンの案内の充実	区役所 区役所・観光協会	自転車愛好家 花の好きな人たち
戦略3 川と歴史を楽しむイベント 【施策】 ●舟運の活用(舟で郷土の食と酒を提供など)	観光協会・区役所	
【管理指標】 (平成29年度実績)	ごっつおまつり 来場者数(30年度:1,000人うち有料400人)／鮭の遡上数(2,270尾)	

取り組み	プレイヤー	ターゲット
戦略1 ガイドの案内で楽しんでもらう 【施策】 ●里山ガイドの充実	里山ガイドの会・区役所・里山VC	里山バイク愛好者
戦略2 多様な宿泊機会を創り出す 【施策】 ●泊まれる里山にする ☞お洒落キャンプ女子を誘引 ●キャンプやアウトドアが通年でできる仕組みづくり	区役所・観光協会・里山VC 観光協会・区役所	ファミリー お洒落女子 トレランナー
戦略3 人を惹きつけるアクティビティをまとめる 【施策】 ●菩提寺山の夜景や里山のパワースポット情報の発信 ●マウンテンバイクやバーベキューの可能な場所の発信	区役所・観光協会・里山VC 観光協会	
【管理指標】 (平成29年度実績)	アキハ里山ガイドの会 利用人数(657件)/アキハ里山ガイドの会 スタッフ数(13人)/里山ガイド(ミニトレッキング)利用件数(65件)/里山ガイド 利用人数(200人)/ビジターセンター 入込客数(36,707人)/花と遺跡のふるさとフェスタ 入込客数(30年度:4,221人)/プレーパーク参加者数(1回平均)(38.4人)	



取り組み	プレイヤー	ターゲット
戦略1 ガイドの案内で楽しんでもらう 【施策】 ●歴史探訪ツアー、まちあるきを実施	小須戸コミ協・観光協会・観光ボランティアガイド	市民・まちあるきファン
戦略2 人を惹きつけるストーリーを再構成 【施策】 ●石油を七不思議としてとらえてみる ●川湊や町屋、まつりの風情を大切にす	観光ボランティアガイド・区役所 コミ協・自治会・まつり保存会・区役所	歴史マニア・小中学校 校総合学習
戦略3 ユニークな宿泊機会を創り出す 【施策】 ●古民家で宿泊可能に ●竪穴式住居で宿泊・体験キャンプができれば	弥生の丘展示館 埋蔵文化財センター	区民 インバウンド 歴史マニア・親子(小学生)
【管理指標】 (平成29年度実績)	小須戸まちあるきガイド 利用件数(30年度:3件)/小須戸まちあるきガイド 利用人数(30年度:50人)/秋葉区の観光ボランティアガイド数(30年度:12人)/まちやギャラリーさつまや 入込客数(30年度:5,000人)/埋蔵文化財センター 入込客数(14,960人)/弥生の丘展示館 入込客数(34,453人)/中野邸記念館 入込客数(11,747人)/石油の世界館 入込客数(9,957人)	

推進体制と連携

1 推進体制

本プランの推進にあたっては、市民、観光関連事業者、観光協会、行政の各主体が観光・交流振興の重要性や相互の役割を理解し、連携しながら一体的に取り組むことが重要かつ不可欠である。

新潟市秋葉区を愛する一人ひとりがプランを共有し、地域への愛着を育み、市民ならではのおもてなしの力が十分に発揮されるよう、各取組みの効果の最大化を図っていく。

2 進捗管理

- (1) 本プランの施策を推進し、相互の協力体制の強化、指標や各事業の進捗状況を評価・検証するため、「秋葉区観光・交流戦略会議」を定期的（5月・11月）に開催する。
- (2) 個別のテーマによっては、緊急・臨時的な勉強会及びワーキングチームを設けて対応する。
- (3) 施策の推進にあたっては、事業の実施・新設だけでなく、必要によりその見直しや廃止も含めた議論を行う。

また、当プランの計画期間である3年間で取り組む短期事業と、それ以降を見据えて取り組む中・長期事業に分けて進捗管理を行う。

3 事務局

本プランに基づく関係者の連携を図るため、「秋葉区観光・交流戦略会議」の事務局を、新潟市秋葉区役所 産業振興課 商工観光係が務める。

観光・交流戦略プラン 策定委員

分野	団体	委員
観光協会	新津観光協会（新津商工会議所）	事務局長 蠅野 新一
業界団体	小須戸商工会	副会長 村井 豊
	新津商店街協同組合連合会	理事長 野本 一郎
鉄道	東日本旅客鉄道株式会社新潟支社	新津駅長 神田 成弘
	新潟市新津鉄道資料館	副館長 水澤 喜代志
食	にいつ食の陣実行委員会	実行委員長 青木 鴻一
花	新潟県立植物園	園長 倉重 祐二
	JA 新津さつき	営農経済部施設直売課長 早川 正敏
	新津フラワーランド	理事 片岡 充
歴史・文化	新潟県埋蔵文化財センター	専務理事 清野 一善
	新潟市新津美術館	副館長 山口 譲
	新潟市秋葉区役所	地域総務課 文化スポーツグループ 今野 誠
里山	里山ビジターセンター	産業振興課いきいき里山室 加藤 裕之
ライター	鉄道サポーター・「鉄道と酒場」探訪人	野沢 達雄
学識経験者	新潟青陵大学短期大学	助教 村山 和恵
地域団体	秋葉区自治協議会	会長 東村 里恵子
行政	新潟県新潟地域振興局	企画振興課長 片桐 淳
	新潟市秋葉区役所	区長 熊倉 淳一
事務局	秋葉区役所産業振興課	課長 長崎 忍
		係長 真田 俊之

（平成31年3月時点）

【資料1】 秋葉区 年度別観光入込客数

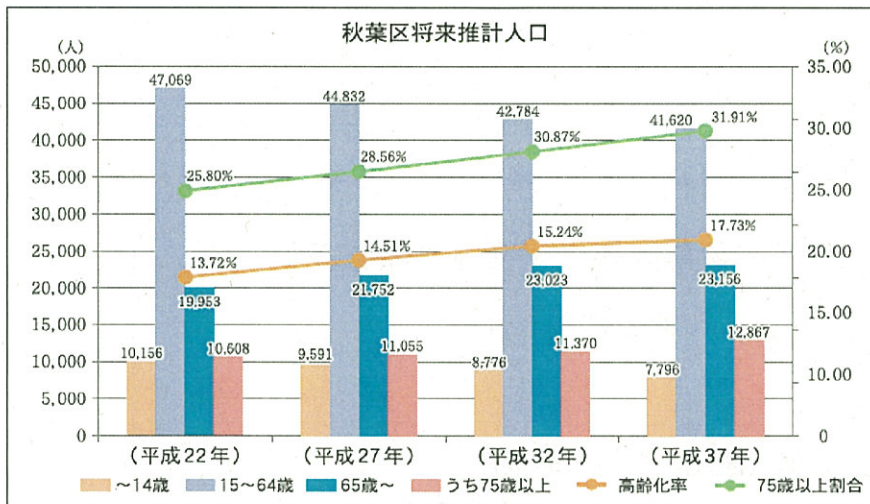
	観光地点・イベント	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
 山  入  安	里山ビジターセンター (H26まで観光物産館)	20,451	19,549	6,106	28,647	28,678	36,707	39,934
	石油の世界館	10,046	10,024	11,112	13,025	10,965	9,957	10,115
	中野邸記念館	16,232	14,664	18,558	20,084	17,397	11,747	12,046
	新津美術館	75,046	89,312	66,803	156,299	103,380	87,242	97,785
	県埋蔵文化財センター	6,794	6,713	6,919	6,954	7,499	14,960	17,003
	弥生の丘展示館	3,611	35,563	36,334	71,238	46,122	34,453	36,977
	秋葉温泉「花水」	147,873	147,736	153,452	150,301	145,017	144,167	143,429
	小須戸温泉健康センター	88,788	79,415	86,690	95,813	108,068	113,997	126,917
	※春まつり臨時露店	10,000	10,000	12,000	15,000	17,000	15,000	10,000
	※新津夏まつり	30,000	32,630	33,300	31,300	31,300	35,500	29,000
	※小須戸喧嘩燈籠まつり	6,000	6,000	2,500	2,500	2,600	2,600	2,700
	※新津宵の風舞	1,000	500	1,000	900	1,000	1,000	休止
	※にいつハロウィン仮装まつり	6,500	3,500	6,000	4,500	6,000	7,500	6,000
	小 計	422,341	455,606	440,774	596,561	525,026	514,830	531,906
 花  花	花夢里にいつ	606,826	584,825	609,307	621,491	588,339	560,983	581,004
	新津フラワーランド	295,696	291,083	286,717	269,911	248,807	238,957	256,184
	花とみどりのシンボルゾーン (うららこすど)	339,168	319,418	357,269	399,072	388,577	371,442	380,561
	新潟県立植物園	194,457	246,607	223,798	224,416	222,735	226,913	280,631
	※にいつ花ふるフェスタ (H30～花と遺跡のふるさとフェスタ)	7,200	6,700	5,145	5,978	5,102	4,740	4,221
	※日本ポケ展	51,100	39,650	38,400	40,100	42,400	30,500	30,500
	※NNS(チケット枚数)					4,765	5,898	6,411
小 計	1,494,447	1,488,283	1,520,636	1,560,968	1,500,725	1,439,433	1,539,512	
 鉄道  川	新津鉄道資料館	8,807	15,431	46,934	49,440	55,926	66,790	60,107
	※総合車両製作所 レールフェ スタinにいつ	13,000	9,000	8,000	9,000	4,000	5,000	5,000
	※にいつ鉄道まつり	6,500	3,000	6,700	7,500	2,500	3,000	5,000
	※ごっつおまつり				900	1,100	700	1,000
	※阿賀野川フェスティバル	13,000	8,000	11,000	11,000	5,000	0	廃止
	小 計	41,307	35,431	72,634	77,840	68,526	75,490	71,107
合 計	1,958,095	1,979,320	2,034,044	2,235,369	2,094,277	2,029,753	2,142,525	
	24年度を100とした場合	100	101	104	114	107	104	109

(※)・・・イベント

【資料2】 秋葉区の主な駅の1日平均乗車人数（JR東日本ホームページ「各駅の乗車人数」より）

駅名	27年度	28年度	29年度
荻川駅	1,892	1,907	1,912
さつき野駅	978	971	987
新津駅	4,250	4,343	4,341
矢代田駅	1,122	1,124	1,064
	8,242	8,345	8,304

【資料3】 秋葉区将来推計人口（平成22年度国勢調査）



新潟市秋葉区観光・交流戦略プラン

(平成 31 年 3 月発行)

【策定】

秋葉区観光・交流戦略会議

【事務局】

新潟市秋葉区役所 産業振興課

〒956-8601 新潟市秋葉区程島 2009 番地

TEL 0250-25-5689 Email sangyo.a@city.niigata.lg.jp

